

2012 年度日本板鰓類研究会シンポジウム

日時:平成 24 年 12 月 8 日(土) 9:30~17:45

(終了後,参加者の内,希望者により意見交換会および館内ツアーを実施します)

場所:大阪・海遊館「海遊館ホール」(大阪市港区海岸通 1-1-10)

主催:日本板鰓類研究会

共催:国立大学法人長崎大学,(株)海遊館

企画責任者:山口敦子(長崎大学)・後藤友明(岩手県水産技術センター)・西田清徳・北谷佳万・高山紀代(海遊館)

(参加費:日本板鰓類研究会員は無料,一般参加者は要旨代として一人 1,000 円)

プログラム

1. 9:30 開会 山口敦子(長崎大学)

2. 9:30 主催者挨拶 仲谷一宏(日本板鰓類研究会会長・北海道大学)

3. 口頭発表(海遊館ホール)

—座長— 後藤友明(岩手県水産技術センター)

9:35 歯から見た板鰓類の多様性について

後藤仁敏(鶴見大短大)

10:00 サメ類における鋸歯縁の形態・構造・形成について

○牛村英里(兵庫県立大院)・後藤仁敏(鶴見大短大)・下田信治(鶴見大歯)・笹川一郎(日本歯科大新潟生命)・八田公平(兵庫県立大)

10:15 サメ類に見られる眼窩内関節の多様性

○須田健太(岡部株式会社)・荻本啓介(北大院水産)・仲谷一宏(北大)

10:30 板鰓亜綱(サメ・エイ類)の噴水器官に見られた多様性

○戸田 実・宮本 圭・内田詮三(美ら島研セ)・仲谷一宏(北大)

10:45 板鰓亜綱(サメ・エイ類)の噴水器官形態と系統関係

戸田 実・[○]宮本 圭・内田詮三(美ら島研セ)・仲谷一宏(北大)

—座長— 佐藤圭一(沖縄美ら海水族館)

11:00 トラザメにおける網膜神経節細胞の分類

○六車香織・山本直之(名古屋大生命)

11:15 *Pentanchus* 属の分類学的位置

○川内惇郎(北大院水産)・仲谷一宏(北大)・矢部衛(北大院水産)

11:30 北西太平洋産カラスザメ属 *Etmopterus lucifer* 種群の分類学的研究
加藤君佳(北大院水産)・仲谷一宏(北大)・矢部衛(北大院水産)

11:45 わが国の板鰐類から近年見出された寄生性カイアシ類
長澤和也(広島大)

12:00~13:00 昼休み(日本板鰐類研究会幹事会)

—座長— 堀江 琢(東海大学海洋学部)

13:00 サメと私たち:ゲノムの進化のエピソード
工樂樹洋(理化学研)

13:15 ミトコンドリアおよびマイクロサテライトDNA マーカーを用いたインド・太平洋におけるヨシキリザメの遺伝的集団構造
○田口美緒子・余川浩太郎(国際水研)

13:30 イタチザメ尾鰭上葉欠損個体の遊泳行動
○中村乙水(東大大気海洋研)・カール・G・マイヤー(ハワイ海洋生物学研究所)・佐藤克文(東大大気海洋研)

13:45 九州・沖縄周辺海域におけるサメ・エイ類の行動生態調査について
○山口敦子・古満啓介(長崎大院水環)

—座長— 兵藤 晋(東京大学大気海洋研究所)

14:00 有明海におけるシュモクザメ類の生態学的知見
○古満啓介・山口敦子(長崎大院水環)

14:15 八代海湾奥部におけるナルトビエイの出現状況
川崎信司(熊本水研センター)

14:30 音と振動によるジンベエザメの行動変化
伊東隆臣(大阪・海遊館)

14:45 ポスター発表, 展示

—座長— 山口敦子(長崎大学)

15:05 軟骨魚類の生理学研究:腎機能研究から摂食調節まで
兵藤 晋(東大大気海洋研)

15:20 卵生軟骨魚類の発生初期における体液調節
高木 互(東大大気海洋研)

15:35 オオメジロザメはなぜ淡水にも適応できるのか?
若林 翠(東大大気海洋研)

15:50 トラフザメの初期発生
○古山莉奈・松本瑠偉・村雲清美・佐藤 圭一(沖縄美ら海水族館)

16:05 超音波画像によるナンヨウマンタ胎仔の観察
○村雲清美・植田啓一(沖縄美ら海水族館)

16:20 オオメジロザメ *Carcharhinus leucas* の成熟卵巣の組織学的特性-硬骨魚の卵巣との比較-

○中村將(琉球大学)・松本瑠偉(沖縄美ら海水族館)・植田啓一・佐藤圭一(沖縄美ら海水族館)・沖縄美ら島財団)

―座長― 北村 徹(日本 NUS 株式会社)

16:35 サメ類を巡る国際情勢について

余川浩太郎(国際水研)

16:50 北太平洋におけるヨシキリザメの資源量指数

○平岡優子・余川浩太郎(国際水研)・金岩稔(東農大・アクア)

17:05 八丈島周辺におけるサメ類による漁業被害発生と海洋環境の関係

○杉山いくみ(東海大院海洋)・堀井善弘(都島しよ総セ八丈)・大泉 宏(東海大海洋)

4. ポスター発表(海遊館ホール内:14:45~15:05)

・ ラブカにおける主要組織適合遺伝子複合体(MHC)クラス I の塩基配列決定と他種との系統解析

○坂本衣里(東海大院海洋)・椎名 隆・田中景子・猪子英俊(東海大医)・大泉 宏・田中 彰(東海大海洋)

・ コノホシギンザメ *Hydrolagus barbouri* の生殖関連形態の雌雄比較

○荻本啓介(北大院水産)・仲谷一宏(北大)・矢部 衛(北大院水産)

・ 板鰐類研究における卓上型次世代シーケンサー(GS junior)の導入例

渡邊太朗(東大大気海洋研)

・ 男女群島周辺海域におけるガンギエイの繁殖特性に関する知見

○原康二郎・古満啓介・山口敦子(長崎大院水環)

・ 南半球におけるニシネズミザメの分布と豊度

○仙波靖子・余川浩太郎・松永浩昌(国際水研)

・ 駿河湾におけるエドアブラザメの PCBs と DDT の蓄積特性

○眞武明生・堀江 琢・田中 彰(東海大海洋)

・ 駿河湾の深海底曳網に入網するサメ類の有機塩素系化合物の蓄積

○堀江 琢・田中 彰(東海大海洋)

・ 山口県瀬戸内海東部沿岸における建網漁獲物のかぶりつき被害―歯形による検証―

○天野千絵(山口水研セ)・落合晋作・土井啓行・石橋敏章(しものせき水族館)

5. 17:20 総合討論・総括 進行:山口敦子(長崎大学)

6. 17:45 閉会 挨拶:山口敦子(長崎大学)

7. 18:00 意見交換会 進行:仙波靖子(国際水産研究所)

(定員 50 名:参加費一人 1,000 円, シンポジウム当日朝, 受付時に申し込み)

挨拶:西田清徳(海遊館)

高校紹介:長崎県立長崎鶴洋高等学校, 大阪府立大阪茨木高等学校, 宮城気
仙沼向洋高等学校

サメ博士によるとっておきの写真紹介

海遊館紹介

8. 19:00~20:30 海遊館内ツアー 案内:北谷 佳万・高山 紀代(海遊館)

(定員 50 名:意見交換会参加者のうち, 希望者対象)